

熊本博物館 スクールシャトルバス事業

－6年間の実践を振り返る－

山口 均

1. はじめに

熊本博物館スクールシャトルバス事業（以後、「シャトルバス事業」）は、来館を希望する熊本市内小・中学校の児童・生徒を熊本博物館（中央区）または、熊本市塚原歴史民俗資料館（南区）に招待し、社会科や理科等を中心に学校における学びを補充したり展示資料の価値や魅力にふれたりする機会を提供する「博学連携事業」の一つである。

当館がリニューアルオープンした翌年：令和元年度（2019年度）からの新規事業で、参加者（教師・児童等）のアンケート結果等を示しながら、これまでの6年間の実践を振り返ってみたい。



小学校3年生「昔の道具と人々の知恵」館内学習の様子



小学校4年生「水と空気の実験」館内学習の様子

2. 事業実施の背景・目的

当館の博学連携事業は、館内に児童・生徒の皆さんを迎えて行う「お迎え事業：館内学習」と学芸班職員が各学校に出向いて行う「お出かけ事業：ゲストティーチャー派遣授業（Zoomによる遠隔資料解説も含む）」を両輪としている（館報「5 教育普及」参照のこと）。どちらもリニューアル前に『プログラム集』を整備し、4年ごとの教科書採択の年度に合わせて更新を行っている。この冊子は市内の小・中学校に2冊ずつ配布するとともに当館HP「学校の先生方へ」のページにも掲載し、校長・園長会や夏季教職員研修講座等の機会を捉えて周知・活用を呼び掛けてきた。

派遣授業にはかなり前から取り組んでいたが、お迎え事業の中核となる「館内学習」はリニューアルオープン後の新規事業であり、多くの児童・生徒に多様なプログラムを活用してほしいという思いがあった。特に、学校で社会科や理科の学習がスタートする小学校3年生や4年生は、博物館での館内学習は知的好奇心を高める上で招待する対象として最適だと考えていた。

一方、熊本市が政令指定都市を目指す過程で合併を働きかけ、平成20年（2008年）以降に熊本市域となった南区の富合町・城南町、北区の植木町の学校は中央区にある当館からは距離が遠いため、なかなか博物館を訪れる機会に恵まれない、といった状況にある。そこで、「シャトルバス事業」を立ち上げ、富合・城南・植木ブロックの小学校（全12校の3年生や4年生）をまずは招待することにし、館内での活動にはプラネタリウムの学習投映（視聴）のほかに必ず「館内学習」を位置付け、活用実績を積み上

げていくような事業構成とした。

なお、令和4年度までの4年間は、上記12校を毎年招待し（コロナ禍のため、数校が辞退する年度もあり）、その成果を踏まえ、令和5年度からの2年間は招待する対象校を広く市内全域の小・中学校に拡げ、年度早々に参加希望を募り、厳正なる抽選によって10校余りを招待するなど、事業の工夫・改善にも取り組んだ。

3. 前半4年間（令和元年度～令和4年度）の実践例と評価

（1）事業内容と評価の概略

前述のとおり、まずは南区：富合・城南地区の小学校4校と北区：植木地区の小学校8校の合計12校（例年、全600名ほど）を対象に「シャトルバス事業」を実施した。

バス会社との契約に際しては、1年目は招待校が給食前に帰校できるよう博物館到着時刻を起点にして2時間半を確保した（例：9時15分に博物館に到着。館内で過ごした後、11時45分までに博物館を出発する）。しかし、「時間が短かった」「もっと博物館で過ごしたかった」という要望が多かったため、2年目からは昼食時間等を含めて最大4時間半まで滞在時間の延長を行った（2時間半で給食前に帰ることも可能）。

館内でのスケジュールは、①プラネタリウム視聴（当日の夜空や季節の星空解説、学習投映番組の視聴）②館内学習（児童の人数によって、1本：15分程度の学習を1～2題材提供）③館内での展示物見学（自由見学になることもあるが、場合によっては学芸班職員の辻立ち解説を聞いたり、質問をしたりすることもできる）といった「基本的な流れ」を提案し、招待校の先生方と相互に

連絡を取り合いながら詳細を決めていくようにした。ちなみに、①～③までの活動は全部で2時間半から3時間程度のスケジュールとなり、午前中をたつぷりと博物館で過ごすことができる。ほとんどの招待校は弁当持参で天気が良ければ近隣の熊本城二の丸公園で弁当開き。しばらく休憩して（遊んで）から学校へと戻って行った。

シャトルバス事業の評価は、アンケートによる4段階評価と自由記述で行った。児童向けの評価項目は、①博物館の先生との勉強は楽しかったですか（例：1とても、2楽しかった、3あまり、4全く）②勉強の内容はわかりましたか③また次も博物館で勉強したいと思いましたが、の3項目に加え、「博物館で思ったことやお願いなど」を自由記述欄に記載してもらい、事業目的の達成状況を把握するようにした。

先生向けの評価項目は「館内での子どもたちの姿」について、①プラネタリウム学習投映を視聴しているときの様子②館内学習プログラムを体験しているときの様子③館内展示物見学をしているときの様子、の以上3項目を4段階で評価してもらった。また、「次年度もシャトルバス事業を利用したいと思いますか」といった設問にも4段階評価によって回答を得た（そのほか、自由記述欄もあり）。

（2）事業評価（令和4年度のアンケート結果：令和元年度からの経年比較データ）

令和4年度（2022年度）スクールシャトルバス事業評価（集計票）

参加12小学校（植木・富合・城南地区:12校） 児童（回答数：624人）

（前年度R3：562人）

1 シャトルバス事業「シャトルバスで博物館に行こう！」について

(1) 博物館の先生との勉強は楽しかったですか？

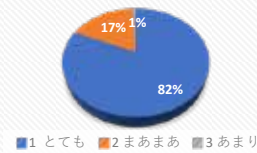
（1とても、2楽しかった、3あまり、4全く、5無回答）

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
児童数	509	109	6	0	0	624
割合(%)	81.6	17.5	1.0	0.0	0.0	100.0

令和4年度 ※(1+2)	99.0	%
令和3年	99.6	%
令和2年	99.5	%
令和元年	98.6	%

事業初年度以外は全て、「学習が楽しかった」との回答が99%を超えた（高評価）。

博物館での勉強
は楽しかった



(2) 勉強の内容はわかりましたか？

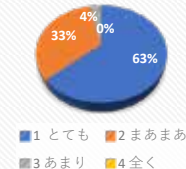
（1とても、2わかった、3あまり、4全く、5無回答）

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
児童数	396	205	22	1	0	624
割合(%)	63.5	32.9	3.5	0.2	0.0	100.0

令和4年度 ※(1+2)	96.3	%
令和3年	96.3	%
令和2年	96.8	%
令和元年	96.6	%

評価の観点：上位2項目の合計割合は4年間とも96%台で推移した。概ね高評価と判断。

勉強の内容が
よくわかった



(3) また次も博物館で勉強したいと思いませんか？

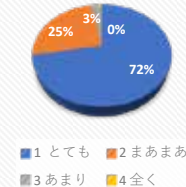
（1とても、2思った、3あまり、4全く、5無回答）

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
児童数	449	156	17	2	0	624
割合(%)	72.0	25.0	2.7	0.3	0.0	100.0

令和4年度 ※(1+2)	97.0	%
令和3年	97.5	%
令和2年	97.3	%
令和元年	97.1	%

評価の観点：上位2項目の合計割合は4年間とも97%台で推移。またの来館を期待したい。

また博物館で
勉強したい



2 自由記述

(1) 楽しかったわけ（アンケート回答より一部抜粋）

- ・クスノキの秘密が知れたから。クスノキのクイズが面白かった。実際に葉っぱをちぎってにおいをかいだりするのが楽しかった。博物館の先生は優しいから。いろいろな先生が教えてくれたから。質問もしやすかったから。
- ・プラネタリウムは説明がわかりやすかったから。プラネタリウムを見て、本当の空はきれいで広がったことにびっくりしました。楽しかったし、感動しました。星座の見方がすごくよくわかった。88も星座があることを初めて知った。
- ・学校で学ばないことが学べて良かった。昔の人が使っていた鎧や刀を見てうれしかった。
- ・縄文土器と弥生土器の違いが知れたから。墓に赤（朱色）が塗られている理由もわかった。
- ・学校ではしない実験ができて楽しかった。空気の実験が面白く、空気の不思議がわかった。

(2) 博物館に来て思ったこと、お願いなど（一部抜粋）

- ・プラネタリウムを見て、星座にとっても興味がわいた。プラネタリウムで、星が動くのがとても面白かった。
- ・ブラックホールがどうしてできたのか知りたかった。土星の輪がどうしてできているのかわかってよかった。
- ・むかしの道具がすごくびっくりしました。昔の電話のことが知れて面白かったです。
- ・加藤清正の甲冑や槍などを見て良かった。加藤清正が好きなので、もっと加藤清正について教えてほしい。
- ・昆虫の学習では、写真で説明されたのでわかりやすかった。
- ▼質問コーナーをたくさんつくってほしい。
- ▼あと30分、バスの出発時間を延長していただければありがたいです。
- ▼説明文に「かな」を付けてほしい。難しい言葉が多いので、もっとわかりやすい説明がほしい。

令和4年度（2022年度）スクールシャトルバス事業評価（集計票）

参加12小学校（植木・富合・城南地区:12校） 教師（回答数：34人）

1 館内での子どもたちの様子

(1) プラネタリウム学習投映について

（1とても、2まあまあ、3あまり、4全く、5無回答）

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
教師数	23	10	0	1	0	34
割合(%)	67.6	29.4	0.0	2.9	0.0	100.0

令和4年 ※(1+2) 97.1 %

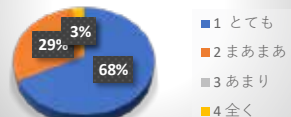
令和3年 100.0 %

令和2年 100.0 %

令和元年 100.0 %

ドーム内での子どもたちの態度が好ましくなかったとの反省も一部あった。それでも、毎年100%に近い高評価を得ている。

1(1)プラネタリムでの子どもたちの様子



(2) 館内学習プログラムについて

（1とても、2まあまあ、3あまり、4全く）

※ 実施できなかった：4人

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
教師数	25	5	0	0	0	30
割合(%)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0

令和4年 ※(1+2) 100.0 %

令和3年 100.0 %

令和2年 100.0 %

令和元年 93.1 %

学習に対して興味深く取り組んでいたとの評価を得た（R2年度からはずっと100%）。

1(2)館内学習での子どもたちの様子



(3) 館内展示物見学について

（1とても、2まあまあ、3あまり、4全く、5無回答）

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
教師数	31	3	0	0	0	34
割合(%)	91.2	8.8	0.0	0.0	0.0	100.0

令和4年 ※(1+2) 100.0 %

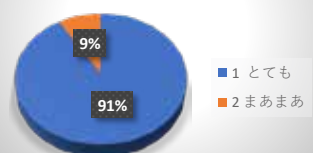
令和3年 100.0 %

令和2年 100.0 %

令和元年 100.0 %

館内展示物に対する興味・関心が高く、評価項目の中では4年連続100%の高評価だった。

1(3)展示見学中の子どもたちの様子



2 次年度もスクールシャトルバス事業を利用したいと思うか

（1とても、2まあまあ、3あまり、4全く、5無回答）

	1 とても	2 まあまあ	3 あまり	4 全く	5 無回答	全体
全体	31	3	0	0	0	34
割合(%)	91.2	8.8	0.0	0.0	0.0	100.0

令和4年 ※(1+2) 100.0 %

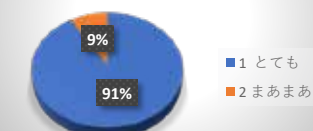
令和3年 100.0 %

令和2年 100.0 %

令和元年 97.0 %

事業初年度は事務連絡等がスムーズでないこともあったが、「次年度もぜひ（とても）利用したい」との割合が年々増えてきた。

2 シャトルバス事業を利用したいか



先生向けの自由記述欄に記された内容を、一部抜粋して箇条書きで示してみる。

【子どもたちの館内での様子】(原文ママ ▼は改善意見)

- ・4年理科で星座について学習していたのでタイムリーでした。子どもたちはわくわくしながら視聴していました。月の動きもよくわかりました。仲良く、キラキラと輝く瞳で学習する体験を久しぶりにできてよかった。
 - ・はじめて博物館に来館する児童が多く、大変興味深く参加できました。
 - ・考古学の先生に詳しく説明してもらい、興味をもった児童がいた。
 - ・見たことのない虫や魚などをたくさん見ることができてとても喜んでいました。また、疑問に思ったことを優しく丁寧に教えてくださり、学びが深まりました。
 - ・初めて知ることが多く、めずらしい展示物に興味をもって見学していた。疑問に思ったことを学校に帰って詳しく調べていました。「新たな発見」のよい機会でした。
 - ・職員の方がそばにいて、すぐに質問ができる状態だったのでより子どもたちの興味をかき立てたようでした。
- ▼写真を撮るのに夢中で、内容の理解まではできなかったようで、もう少し見学時間がほしいと思いました。

【本事業についての感想・意見・要望等】
(原文ママ ▼は改善意見)

- ・バス代の負担をしていただき、楽しく学習できるのでありがたい。この事業を続けてほしいと思います。
- ・博物館のスタッフの方に笑顔で接しても

らえるので、すがすがしい気持ちで学習できました。教室で学ぶよりもワクワク感があり、より実感をもって学習できた。

- ・学芸員の先生方の詳しい解説もあり、ただ見学するだけでなく、よりわかりやすかったようです。これを機会に、自分たちで博物館に行ったり調べたりするような子どもたちが増えるといいと思いました。
- ・計画が綿密で、多くの子どもたちがまた家の人と行きたいと言っていました。
- ・博物館の専門的な先生方の誘導がありがたかった。
- ・博物館は距離的に遠く、なかなか行く機会がない子供たちが多いと思いますので、とてもありがたいです。
- ・ネットの世界ばかりでなく、こうした本物に触れる機会を大切にしたいと思います。

▼さわってもいいコーナーがあるといいなあとと思いました。

上記アンケートの結果、シャトルバス事業を経験した先生方の100%、子どもたちの97%以上が、「次の年も博物館を訪れて学習や体験をしたい」と回答しており、滞在中の各種プログラムも参加者の期待に応え得るものだと判断した。

そこで、次年度からは招待する学校を「希望・抽選制」として、これまで固定していた対象校を熊本市内の全ての小・中学校に拡大した。受入れ規模は、大型バス換算で20台:800人程度の児童・生徒を招待できるよう準備を進めた。

4. 後半2年間（令和5年度～令和6年度）の実践例

（1）シャトルバス事業の周知

事業開始から4年間は招待校を富合・城南地区、植木地区の小学校12校に限定していたが、やがて「うちの学校も招待事業に参加したい!」というお声を知り合いの先生方から頻繁に聞くようになった。元々、数年後には招待校の範囲を拡げていく構想があ

ったので、令和5年度（2023年度）からの改善・実施に踏み切ったところである。

対象校が市内の全小・中学校になるので、令和4年度中に校長・園長会向けの配信動画を制作して視聴してもらったり、「実施要項」及び「シャトルバス事業概要版 Q&A」を作成・配布したりして周知を図った。

※ 参考資料として「令和6年度用の概要版 Q&A」の一部を抜粋して紹介する。

【Q&A：令和4年度までとの変更点は？（再掲）】

【令和4年度まで】旧合併3町（旧富合町・旧城南町・旧植木町）の全12小学校を対象に、主に小学校中学年（3～4年生）を熊本博物館に招待。

【令和5～6年度は…】 ↓ ↓ ↓

熊本市内全小中学校（小3～中3）を対象として、希望校の中から全10校程度（バス約20台分）を厳正なる抽選によって熊本博物館や塚原歴史民俗資料館に招待します（令和5年度実績は13校）。

【応募・参加できる学年は？】

館内展示資料と小中学校の学習内容との関連を考慮し、小学校3年生～中学校全学年が応募できます（複式学級の場合は小2もあり得ます）。

各学校、第③希望まで応募可能で、第①～③希望学年は全部同一学年でも別学年でも結構です。ただし、第①希望から優先的に抽選します。

【バス1台に乗車可能な人数の学年でしか応募できないの？】

いいえ。単一学年の児童・生徒数全員と引率される先生方の人数（予定数）を合わせてご応募ください。当館での厳正なる抽選の結果、当選された学校・学年の人数に応じてバスを手配いたします。

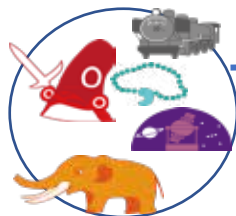
少人数学校の場合、1台のバスに乗車可能なら複数学年での応募も可。

【熊本博物館・塚原歴史民俗資料館の選択はどうするの？】

各学校で施設を選択してください。【別紙1】の項目内に選択欄がありますので、どちらかに○を付けてください。

【スクールシャトルバス事業の大まかなタイムスケジュールは？】

※以下のとおりです！



① 令和 5 年 3 月中旬：要項・希望調査票を配布

② 参加希望校は希望調査票【別紙 1】を返信（FAX）

（新年度：4 月 19 日まで）

<各学校>

<博物館>

③ ②の希望票を基に、博物館にて第一希望から抽選：10 校余り

④ 応募校への当落連絡 → （5 月上旬頃）

⑤ バス業者の選定・契約事務手続き（博物館：～ 7 月中）

※ 実施校の希望票（実施場所・実施希望日）を基に業者を決定

⑥ バス業者・担当者等の決定連絡（実施校へ：同上～ 7 月中）

⑦ 実施校・バス業者・博物館（塚原資料館）担当者の打合せ・準備（随時）

⑧ 本事業の実施 ※（R6 年 9 月・10 月・12 月・R7 年 1 月・2 月・3 月）

※ 11 月は各種団体様・個人様の入場数が多く事業の受入れ困難

（2）実践例と評価（熊本市塚原歴史民俗資料館での実践を中心に）

周知の結果、後半 2 年間は令和 4 年度までの招待校を含む市内およそ 30 校からの応募があった。厳正なる抽選により、令和 5 年度は小学校 12 校・中学校 1 校（全 13 校）を、令和 6 年度はバスの賃借料等が全国的に高騰した影響もあり、小学校 10 校・中学校 1 校（全 11 校）を当館または塚原歴史民俗資料館（以下、「塚原資料館」）に招待した。

塚原資料館は、国指定史跡「塚原古墳群」に隣接しており、館内にはその古墳群からの出土資料をはじめ数万点にのぼる考古・歴史・民俗分野の資料を収蔵・展示しているため小学校中・高学年から中学生を対象とした社会科学習に適した施設である。

前述の「シャトルバス事業概要版 Q&A」では紹介できなかったが、各小・中学校に事前配布する「実施要項」の中に塚原資料館での活動内容例を示しているので抜粋してみる。

【実施要項より～塚原歴史民俗資料館での活動内容例～】

※ 展示室内見学（考古・歴史・民俗）、研修室での講話・体験活動、塚原古墳公園見学等（全 1 時間半～2 時間：2～3 班に分かれての実施あり）。

※ 天候、対応できるスタッフの人数等によって内容変更もあり。

※ 往路・帰路で熊本博物館を經由し、プラネタリウム番組等を視聴することも可能。

※ スケジュール例：往路で博物館に立ち寄る場合【目安】

博物館着・トイレ等
9:00～9:15



プラネ視聴（60 分）
9:20～10:20

→塚原へ移動…昼食→

（10:30～11:30）（60 分）（帰校 13:30～14:30）

展示見学・講話・体験
活動等（60 分）
12:30～13:30

※ 塚原での体験活動は、展示解説・古墳見学・勾玉づくり・編布体験その他、要相談

※ 各種体験に要する大まかな時間【目安】

- ・館内学習プログラム体験（20分～40分） ・館内展示物見学（60分：調整枠）
- ・勾玉（まがたま）、網代（あじろ）編み、編布（あんぎん）づくり（60分）
- ・塚原古墳公園見学（30～45分） その他、場所移動やトイレ休憩等（20～30分）



貫頭衣を身に着けた
担当職員に興味津々



考古・歴史資料についての
詳しい展示解説



一心に何かを願って…
「勾玉づくり」体験



これから塚原古墳公園へ
案内看板前での解説



公園内の立体案内模型
古墳の分布状況を把握



登壇可能な古墳の上で
周囲の様子を視察

決定校の中で塚原資料館への招待校は、令和5年度が6校（内、2校は当館と塚原資料館の両方の施設を利用）、令和6年度が3校となった。シャトルバス事業で塚原資料館を訪れた先生方及び児童・生徒の評価はこれまで同様にアンケート調査により把握した。

事業評価は、児童・生徒向けには①塚原資料館での見学や体験は楽しかったですか（例：1とても、2楽しかった、3あまり、4全く） ②説明の内容はわかりましたか ③また資料館で見学や体験がしたいですか、の3項目。先生向けには塚原資料館での子どもたちの様子（3項目）を同様に4段階で評価してもらった。いずれも上位2段階の数値を合わせた割合は95～100%という高い水準となった。綿密な準備をしてお迎え

した成果だと考える。

5. おわりに

6年間にわたる「シャトルバス事業」を終えた。代わりに、令和7年度からは小学校5年生対象の「集団宿泊教室時のプラネタリウム学習投映」の受入れを再開する。スクラップ&ビルドよろしく、昨年の秋から広報・周知を行っており、市内の小学校：全92校中50校余りが当館を訪れる予定である。今後も博学連携事業のよりよい展開を願っている。